

株主  
通信

2008年5月期【中間】

2007年5月21日～11月20日

地球との共存を目指し、お客様との共栄を願う。

# 株主の 皆様へ



代表取締役社長

伊藤 主計

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

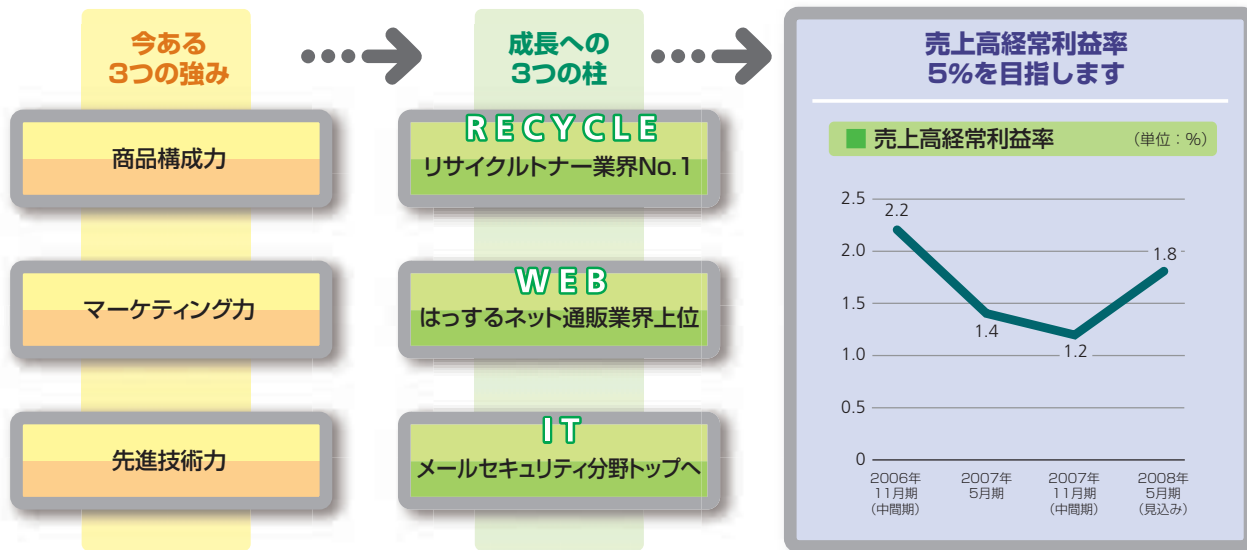
また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2008年5月期中間期(2007年5月21日～2007年11月20日)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当社グループは主力商品であるリサイクルトナーカートリッジならびにIT商品の拡販を行うとともに、Web購買システム「ケイティケイはっするネット」の拡大に注力し、利益確保を重視した営業活動を展開し、売上総利益率を改善してまいりました。

また、従来にも増して激しくなった価格競争に加え、2次店取引先の再生手続開始により債権取立不能が生じたため、当初より計画していた2次店ビジネスの縮小計画を更に推進するとともに、輸入純正トナーカートリッジが入手

当社グループは、価格競争で低下した売上総利益率の改善を進めており、特に売上総利益率の高いリサイクル商品とIT商品を拡販することで、物販から付加価値型ビジネスへの転換を図っております。



困難となっていることや模造品の国内流入リスクが高まっていることから、仕入先の厳選および仕入検品体制の充実を図ってまいりました。

さらに主要施策である3本柱の強化を行うことで、IT商品および文具・事務用品などのその他商品については、着実に売上を伸ばすことができました。一方、リサイクルトナーカートリッジにおいては、環境にやさしく、メーカー純正よりも安価で経費削減効果も高いことから、顧客の高い支持を得て販売数量は増加しましたが、市場価格の下落により売上高は減少しました。また、OAサプライ商品も輸入純正トナーカートリッジの入手難が未だ続いていること等により、売上が伸び悩みました。

これらの結果により、当中間連結会計期間の売上高は5,051百万円(前年同期比4.1%減)となり、再生手続を開始した2次店である株式会社工栄工業に対する債権の回

収不能見込額の全額に対して貸倒引当金を計上したことにより、営業利益は64百万円(同45.3%減)、経常利益60百万円(同47.8%減)、中間純利益は31百万円(同52.3%減)となりました。

なお、当通期の連結売上高につきましては、リサイクル商品の拡販および収益改善、「ケイティケイはつするネット」の導入顧客数増加に伴うWeb受注率の向上、電子署名付加サーバおよび暗号化サーバソフトウェア(SPIS-BOXシリーズ)を中心としたIT商品の商品力強化を行うことにより、業績予想通りの売上高10,687百万円、経常利益195百万円および当期純利益101百万円となる見通しです。

今後も成長への「3つの柱」を整備し、マーケット拡大を実現させていく所存でございます。

## 連結財務ハイライト



# ハッスル情報

## リパクトナー再生現場レポート

ケイティケイのリパクトナーは、100%子会社の(株)アイオーテクノ駒ヶ根工場で再生されています。



### リパクトナーに特化した環境・品質体制を完備。

当社子会社の(株)アイオーテクノ駒ヶ根工場は、トナーカートリッジのリサイクル商品である「リパクトナー」に特化した生産設備で、環境および品質マネジメントの国際規格「ISO14001」「ISO9001」を認証取得し、お客様の品質要求を満たす万全な管理体制を維持しています。

工場の従業員は、熟練スタッフ指導のもと一人ひとりを各工程におけるエキスパートとして専任化。全てのトナーカートリッジを取り扱えるよう、ランク評価に基づいた人材教育体制を敷いています。

### 駒ヶ根工場 工場見学



① 受入形状検査



② 再生加工(分解)

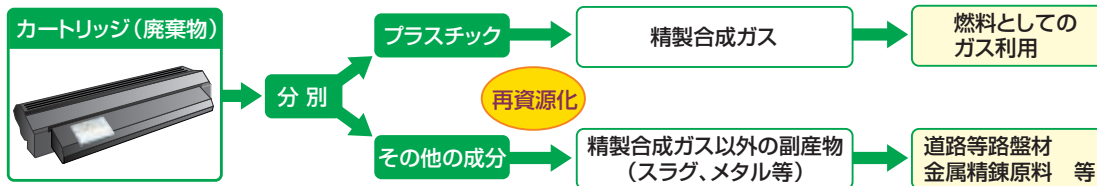


③ 再生加工(組立)



### 環境保全を追求し、ゼロエミッション\*を実現。

廃トナーや再生回数をオーバーしたカートリッジなどの廃棄パーツは、協力会社による廃棄物処理ネットワークを通じて再資源化し、精製合成ガス、スラグ、メタル等として再利用します。これによって、最終処分場を必要としない完全リサイクル(ゼロエミッション)を実現しています。



\*ゼロエミッションとは…産業から出る全ての廃棄物を他の分野の原料として活用し、あらゆる廃棄物をゼロにすることで資源循環型社会の形成を目指す考え方。

## リサイクルトナーカートリッジ

### カラー化が進む中でさらにシェアを拡大。

駒ヶ根工場では、各プリンタメーカーの製品およびOEM製品を対象に約600アイテムを取り扱い、月間約1万5,000本(年間約18万本)のリサイクルトナーを出荷しています。

近年では、カラープリンタの急速な普及に伴い、リサイクルトナーにおいてもカラートナーが増加傾向にあり、その割合は駒ヶ根工場による出荷全体の25%近くにまで拡大しています。カラートナーの伸びは、当社グループにとって売上の成長につながるものと考え、積極的に研究開発および設備投資を行い、将来的には月産2万本を視野に入れ、着実なシェア拡大を目指してまいります。



④ テストプリント



⑤ 梱包



お客様のお手元へ…

◆バーチャル工場見学が(株)アイオーテクノホームページよりご覧いただけます  
 → <http://www.iotechno.co.jp/>



稼働効率と品質のさらなる向上を目指し  
 業界No.1工場としての地位を築いてま  
 いらします。

(株)アイオーテクノ駒ヶ根工場長 荻原 章

当工場にとって今後の課題は、稼働効率と品質をさらに向上させ、コストダウンによる価格競争力を確保していくことです。

そして、国内リサイクルトナーのシェア増加を目指すケイティケイの販売戦略をサポートし、製造・販売の一環体制の強みをさらに引き出すことで、業界トップクラスの工場としての地位を目指してまいります。



駒ヶ根工場概要 2007年11月20日現在

所在地：長野県駒ヶ根市下平292-10 (上の原工業団地内)  
 敷地面積：7,130m<sup>2</sup>  
 建築面積：事務所棟279m<sup>2</sup>／工場棟1,395m<sup>2</sup>  
 竣工年月：1998年9月  
 従業員数：60名 (派遣・パートを含む)  
 取得認証：ISO 14001:2004、JIS Q 14001:2004  
 ISO 9001:2000、JIS Q 9001:2000

## 中間連結財務諸表【要約】

中間連結貸借対照表			
	(単位：千円)		
科 目	当中間期 2007年11月20日	前中間期 2006年11月20日	前期 2007年5月20日
<b>資産の部</b>			
流動資産	2,755,078	2,950,994	3,245,075
現金及び預金	736,004	816,288	1,133,423
受取手形及び売掛金	1,699,325	1,800,619	1,772,409
有価証券	20,795	20,726	20,755
たな卸資産	282,863	301,255	300,540
繰延税金資産	17,935	14,549	17,677
その他	7,845	5,289	8,294
貸倒引当金	△ 9,691	△ 7,735	△ 8,023
固定資産	1,973,917	1,918,402	1,980,351
有形固定資産	1,159,482	1,191,378	1,172,716
無形固定資産	187,562	105,420	170,301
投資その他の資産	626,871	621,602	637,333
資産合計	4,728,995	4,869,396	5,225,426
<b>負債の部</b>			
流動負債	2,383,625	2,462,246	2,856,869
支払手形及び買掛金	1,216,339	1,238,147	1,583,212
短期借入金	817,500	852,240	832,500
未払法人税等	23,307	51,896	37,002
賞与引当金	—	2,620	—
その他	326,479	317,343	404,154
固定負債	275,751	304,979	299,129
長期借入金	20,150	37,650	27,650
退職給付引当金	—	350	425
役員退職慰労引当金	241,226	248,334	254,370
その他	14,375	18,645	16,684
負債合計	2,659,377	2,767,225	3,155,998
<b>純資産の部</b>			
株主資本	2,056,796	2,087,212	2,050,800
資本金	294,675	294,675	294,675
資本剰余金	259,675	259,675	259,675
利益剰余金	1,523,330	1,533,416	1,517,334
自己株式	△ 20,883	△ 554	△ 20,883
評価・換算差額等	12,821	14,958	18,626
純資産合計	2,069,618	2,102,171	2,069,427
負債純資産合計	4,728,995	4,869,396	5,225,426

### ■無形固定資産

電子署名付加サーバおよびメール暗号化サーバソフトウェア「SPIS-BOXシリーズ」の商品ラインナップを拡充させることを目的として先行投資を行った結果、無形固定資産が大幅に増加し、前中間期末と比較して82百万円増加となりました。

### ■長期借入金

金融機関への長期借入金の約定返済が進んだことにより有利子負債が減少したため、長期借入金は前中間期末と比較して17百万円減少となりました。

中間連結損益計算書			
	(単位：千円)		
科目	当中間期 2007年5月21日～ 2007年11月20日	前中間期 2006年5月21日～ 2006年11月20日	前期 2006年5月21日～ 2007年5月20日
売上高	5,051,590	5,265,285	10,487,234
売上原価	3,897,475	4,097,262	8,183,215
売上総利益	1,154,115	1,168,022	2,304,019
販売費及び一般管理費	1,089,183	1,049,250	2,152,833
営業利益	64,931	118,772	151,186
営業外収益	5,177	5,480	13,236
受取利息	985	150	558
受取配当金	616	510	954
受取家賃	1,752	1,774	3,575
受取助成金	-	857	3,142
その他	1,822	2,188	5,005
営業外費用	10,009	9,188	20,225
支払利息	9,176	7,534	15,559
その他	833	1,654	4,665
経常利益	60,098	115,063	144,197
税金等調整前中間(当期)純利益	60,098	115,063	144,197
法人税、住民税及び事業税	21,473	50,408	71,762
法人税等調整額	7,166	△ 1,324	△ 3,183
中間(当期)純利益	31,458	65,979	75,618

中間連結キャッシュ・フロー計算書			
	(単位：千円)		
科目	当中間期 2007年5月21日～ 2007年11月20日	前中間期 2006年5月21日～ 2006年11月20日	前期 2006年5月21日～ 2007年5月20日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 312,308	△ 221,744	260,319
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 40,087	△ 72,087	△ 182,741
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 47,853	△ 123,042	△ 198,833
現金及び現金同等物の増減額	△ 400,249	△ 416,874	△ 121,255
現金及び現金同等物の期首残高	1,029,153	1,150,409	1,150,409
現金及び現金同等物の中間(期末)残高	628,904	733,535	1,029,153

#### ■売上高

「リバクトナー」の売上本数の増加や、IT商品と「ケイティケイはっするネット」の堅調な増収がありましたが、価格競争の激化や輸入純正トナーカートリッジの入手難等により、売上高は前中間期末と比較して213百万円の減収となりました。

#### ■営業利益／経常利益

各商品群の拡販と利益確保を重視した営業活動を行っていましたが、2次店取引先の債権回収不能が生じた等の事由により前中間期末と比較して営業利益は53百万円、経常利益は54百万円の減益となりました。

#### ■税金等調整前中間純利益／中間純利益

2次店取引先の債権の回収見込額的全額(16百万円)に対して、貸倒引当金を計上したことにより前中間期末と比較して税金等調整前中間純利益は54百万円、中間純利益は34百万円の減益となりました。

中間連結株主資本等変動計算書 (2007年5月21日～2007年11月20日)							
	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
2007年5月20日残高	294,675	259,675	1,517,334	△ 20,883	2,050,800	18,626	2,069,427
中間連結会計期間中の変動額							
剰余金の配当			△ 25,462		△ 25,462		△ 25,462
中間純利益			31,458		31,458		31,458
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)						△ 5,805	△ 5,805
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	5,996	-	5,996	△ 5,805	190
2007年11月20日残高	294,675	259,675	1,523,330	△ 20,883	2,056,796	12,821	2,069,618

## 中間単体財務諸表【要約】

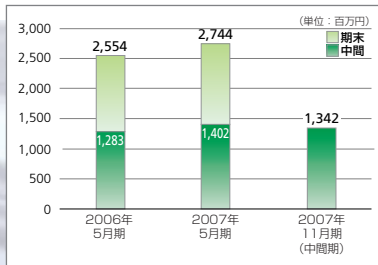
科目	当中間期 2007年11月20日	前中間期 2006年11月20日	前期 2007年5月20日
<b>資産の部</b>			
流動資産	2,609,541	2,764,211	2,986,562
固定資産	1,978,083	1,957,372	2,029,403
有形固定資産	1,138,320	1,168,422	1,152,163
無形固定資産	186,415	74,307	142,605
投資その他の資産	653,348	714,641	734,634
資産合計	4,587,625	4,721,583	5,015,965
<b>負債の部</b>			
流動負債	2,370,281	2,435,558	2,773,206
固定負債	275,243	304,552	298,574
負債合計	2,645,525	2,740,110	3,071,780
<b>純資産の部</b>			
株主資本	1,929,278	1,966,513	1,925,558
資本金	294,675	294,675	294,675
資本剰余金	259,675	259,675	259,675
利益剰余金	1,395,812	1,412,718	1,392,092
自己株式	△ 20,883	△ 554	△ 20,883
評価・換算差額等	12,821	14,958	18,626
純資産合計	1,942,100	1,981,472	1,944,185
負債純資産合計	4,587,625	4,721,583	5,015,965

科目	当中間期 2007年5月21日～ 2007年11月20日	前中間期 2006年5月21日～ 2006年11月20日	前期 2006年5月21日～ 2007年5月20日
売上高	5,044,333	5,171,570	10,336,461
売上原価	3,984,737	4,121,806	8,268,485
売上総利益	1,059,595	1,049,764	2,067,975
販売費及び一般管理費	1,007,541	947,183	1,951,519
営業利益	52,054	102,580	116,456
営業外収益	23,700	26,959	49,415
営業外費用	14,362	14,009	29,822
経常利益	61,392	115,530	136,049
特別損失	5,069	-	-
税引前中間(当期)純利益	56,322	115,530	136,049
法人税、住民税及び事業税	19,577	47,303	65,649
法人税等調整額	7,562	△ 480	△ 3,402
中間(当期)純利益	29,182	68,707	73,802

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他の価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		利益剰余金合計						
2007年5月20日残高	294,675	259,675	259,675	40,543	1,200,000	151,548	1,351,548	1,392,092	△ 20,883	1,925,558	18,626	18,626	1,944,185
中間会計期間中の変動額													
剰余金の配当						△ 25,462	△ 25,462	△ 25,462		△ 25,462			△ 25,462
中間純利益						29,182	29,182	29,182		29,182			29,182
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)											△ 5,805	△ 5,805	△ 5,805
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-	-	-	3,720	3,720	3,720	-	3,720	△ 5,805	△ 5,805	△ 2,085
2007年11月20日残高	294,675	259,675	259,675	40,543	1,200,000	155,268	1,355,268	1,395,812	△ 20,883	1,929,278	12,821	12,821	1,942,100



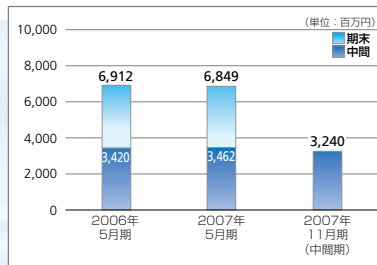
リサイクル商品



メーカー純正のトナーカートリッジが高価なことから経費削減効果が高く、環境にやさしいリサイクルトナーカートリッジは、顧客の高い支持のもとプリンタのカラー化の影響から販売数量は順調に推移しましたが、市場価格の下落により売上高は伸び悩みました。

ドットプリンタにおいては、運送業など一部の業界を除き使用量は確実に減っており、リサイクルリボンの販売は減少いたしました。これらの結果、当商品群の売上高は1,342百万円(前年同期比4.3%減)と減収となりました。

OAサプライ商品

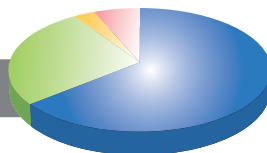


新品トナーカートリッジは、輸入純正トナーカートリッジおよび汎用トナーカートリッジの入手難が未だ続いているため販売は減少いたしました。

また、紙製品においてはPPC用紙や一般印刷物、オーダー用紙の販売が増加いたしました。また、ロールペーパー類は普通紙FAX機の浸透や電子ジャーナル化等により減少いたしました。

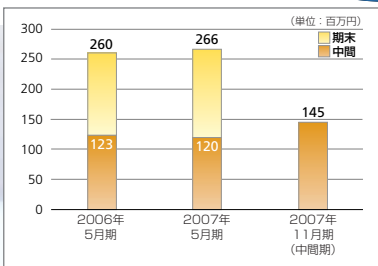
これらの結果、当商品群の売上高は3,240百万円(前年同期比6.4%減)と減収となりました。

品目別売上高構成比率



リサイクル商品	26.6%	1,342百万円
OAサプライ商品	64.2%	3,240百万円
IT商品	2.9%	145百万円
その他	6.3%	323百万円

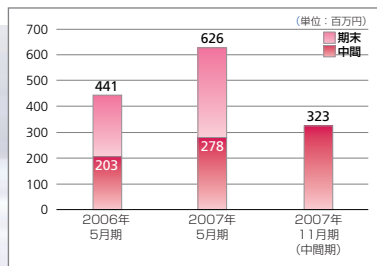
IT商品



IT商品は、従来のレンタルサーバとホームページ作成に、電子署名付加サーバおよびメール暗号化ソフトウェア(SPIS-BOXシリーズ)の受注が加わり順調に推移いたしました。

これらの結果、当商品群の売上高は145百万円(前年同期比20.4%増)と増収となりました。

その他



その他商品は、Web購買システム「ケイティキはっするネット」の会員数増加に伴い、ステーションリー商品の販売は順調に推移しており、既存商品を加えると着実に実績を積み上げております。

この結果、当商品群の売上高は323百万円(前年同期比15.9%増)と増収となりました。

SPIS-BOX



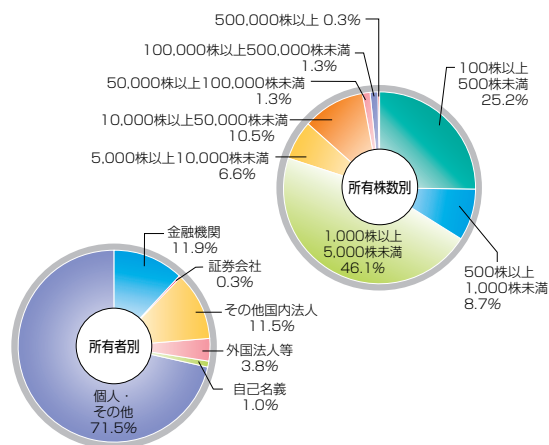
■ 株式の状況

発行可能株式総数	12,000,000株
発行済株式総数	3,675,000株
株主数	392名

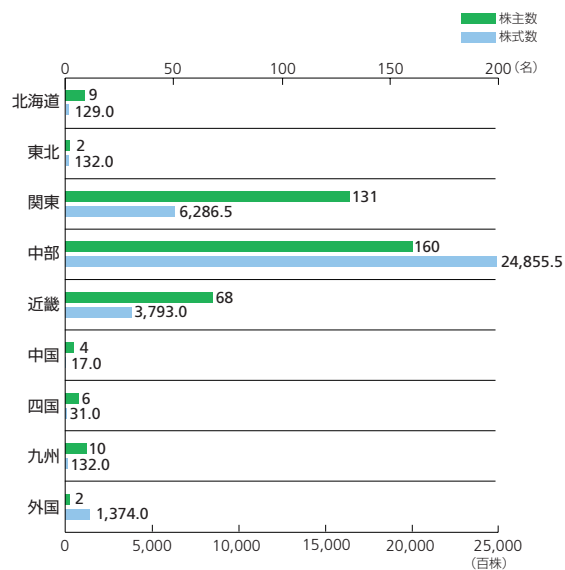
■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)
加藤道明	870,200
名古屋中小企業投資育成株式会社	400,000
伊藤主計	200,000
バンク オブ ニューヨーク ジャーシーエム クライアント アカ운ツ イー アイエスジー	135,300
厚東和寿	110,000
村木文恵	108,000
株式会社三菱東京UFJ銀行	90,000
加藤進策	84,700
株式会社中京銀行	75,000
明治安田生命保険相互会社	60,000

■ 所有者別・所有株数別分布状況



■ 地域別分布状況



## ■ 会社概要

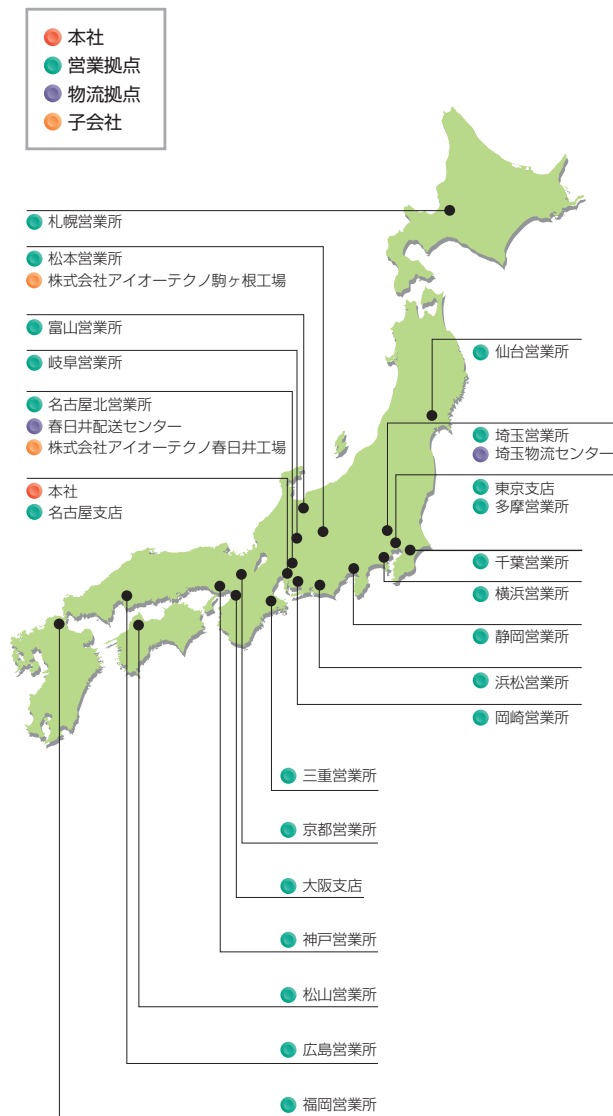
設立	1971年6月29日
資本金	2億9,467万円
従業員数	189名 (注) 従業員数は、就業人数であり、子会社への出向者2名、使用人兼務役員2名および嘱託社員・派遣社員・パートタイマーの中間期中平均雇用人数22名は含んでおりません。
事業内容	リサイクル商品、OAサプライ商品、IT商品等のオフィス関連商品の販売

## ■ 取締役および監査役

代表取締役会長	加藤 道明
代表取締役社長	伊藤 主計
取締役 (社長特命事項担当)	荒木 一功
取締役 (管理部長)	木村 裕史
取締役	鈴木 克郎
常勤監査役	高橋 省吾
監査役	林崎 正生
監査役	加藤 周三

## ■ 執行役員

執行役員 (経営企画部長)	赤羽 聡
------------------	------



## 株主メモ

事業年度	毎年5月21日から翌年5月20日まで
定時株主総会	8月
剰余金の配当の基準日	期末配当 5月20日 中間配当 11月20日
単元株式数	100株
証券コード	3035
株式名義書換 株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号（〒460-8685） 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部 フリーダイヤル0120-78-2031
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
上場金融商品取引所	ジャスダック証券取引所
公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 <a href="http://www.ktk.gr.jp/">http://www.ktk.gr.jp/</a>

### お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

## ケイティケイ 株式会社

〒461-0001 名古屋市東区泉二丁目3番3号  
TEL.052-931-1881（代表） FAX.052-932-5459  
<http://www.ktk.gr.jp/>

